

# 地域おこし協力隊

vol. 8

## 『横山陽子』の活動日記

飯南町に引っ越して初めの春がやってきました。朝はうぐいすの声が目覚まし代わりです。ずっと鳴いていることにびっくりしました。地域の人にそのことを話すと「下手だった鳴き声が日々上手くなっていくのが面白いよ」と言います。なるほどそういう聞き方！毎日発見があり地域の人から色々教えてもらっています。

春といえば山野草の季節です。私は薬草や山菜が大好きで飯南町に来てから足元を見ることが多くなりました。毎日わくわくしながら過ごしています。

早速、声をかけていただいて地域の人たちと一緒に山野草を摘ませてもらいに行きました。つくし、ノカンゾウ、ノビル、よもぎ、わらびなどたくさんありました。どれもこれも綺麗！山の水と空気でピカピカ光って見えました。いただいた山野草は天ぷらやお浸しなどにして、美味しくいただきます。また、よもぎは地域のお母さんたちとよもぎ餅にしたりします。よもぎの味が濃厚で香りもしっかりして本当においしかったです。そして、よもぎは薬の代わりになると言われていますので焼酎に漬け込み、よもぎのチンキとよもぎのオイルを作りました。よもぎのチンキは出来上がりまでに3ヵ月ほどかかりますが、とても楽しみです。これからまだまだたくさんの薬草が出てきます。お茶にしたり、薬代わりにしたりとやりたいことがいっぱいあります。

都会にいるとなかなか手に入らない薬草も田舎にいると身近にあります。その事は、とても貴重なことなのです。都会に住んでいる私の友人も薬草が好きで遊びに行きたいと言っています。

また、この春には「薬草摘みツアー」を開催しようと思っていたのですが、コロナウィルスの影響が落ちつくまで我慢です。残念ですが、しかたないですね。

また、来年の春に期待しましょう、その際はSNSなどで報告したいと思っていますので是非参加してくださいね。

私が住んでいる飯南・飯高町は薬草の宝庫です。いろんな人たちに山の恵みを伝えていき、知ってもらうためにも頑張って活動をしていきたいと思っています。



※地域おこし協力隊・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。